

特別会計

国民健康保険事業	83億5,640万円
後期高齢者医療事業	8億2,032万円
老人保健事業	4,011万円
介護保険事業	69億9,542万円
介護サービス事業	7,964万円
戸別浄化槽整備事業	5,452万円
小規模水道等事業	368万円
休日夜間急患センター事業	3,852万円
田代診療所事業	6,668万円
公設総合地方卸売市場事業	806万円
農業集落排水事業	9億563万円
公営駐車場事業	4,347万円
温泉開発事業	1,462万円
奨学資金事業	3,341万円
都市計画事業	5億5,070万円
土地取得事業	4千円
宅地造成事業	2,363万円
財産区	1,835万円

企業会計

病院事業会計	112億8,590万円
水道事業会計	21億2,546万円
工業用水道事業会計	6,850万円
下水道事業会計	39億1,077万円

平成21年度一般会計予算(性質別の歳出内訳)

項目	21年度当初 (A)	20年度当初 (B)	増減額 (A)-(B)=(C)	増減率 (C)(B)(%)
I 義務的経費	153億7,102万3千円	150億9,904万1千円	2億7,198万2千円	1.8
1 人件費	63億3,083万3千円	65億1,446万6千円	1億8,363万3千円	2.8
2 扶助費	43億9,975万円	43億2,254万9千円	7,720万1千円	1.8
3 公債費	46億4,044万円	42億6,202万6千円	3億7,841万4千円	8.9
II その他経費	109億3,134万5千円	106億2,253万8千円	3億880万7千円	2.9
1 繰出金	32億4,160万6千円	31億2,629万6千円	1億1,531万円	3.7
2 物件費	37億2,476万2千円	36億4,339万1千円	8,137万1千円	2.2
3 補助費等	27億4,223万3千円	26億3,490万6千円	1億732万7千円	4.1
4 その他	12億2,274万4千円	12億1,794万5千円	479万9千円	0.4
III 投資的経費	19億4,570万円	21億1,988万4千円	1億7,418万4千円	8.2
歳出合計	282億4,806万8千円	278億4,146万3千円	4億660万5千円	1.5

維持補修費、貸付金、投資及び出資金、積立金、予備費

用語解説

一般会計 主に市税をもとに、市が基本的な行政サービスを行うための会計です。
 特別会計 特定の事業の歳入と歳出を一般会計と区別して経理する場合に、法律や条例で設ける会計。本市では、国民健康保険や介護保険など18の特別会計を設置しています。
 企業会計 地方公営企業の会計で、独立採算が原則。本市では、病院事業など四つの企業会計を設置しています。
 義務的経費 人件費など支出が義務付けられている経費
 投資的経費 道路や学校の整備など社会資本として将来に残るものの整備経費
 依存財源 国や県から交付されるお金
 自主財源 市が単独で賄うことが出来るお金

一般会計

歳入 財源の基幹になる、市税は、79億4,266万6千円で、28.0%。また「地方交付税」は、地方財政計画でプラスになったことを受け、総額106億8,134万6千円で37.8%と、合わせて全体の3分の2を占めています。
 歳出 コンバクトでバランスの取れた行政体の構築を目指し、経費の効率的な見直しを図るとともに、中心市街地活性化や少子高齢化対策、地域医療対策を進め、雇用の確保や経済対策などにも対処した予算としました。
 とりわけ、緊急雇用対策に配慮したほか、小中学校耐震対策事業や中心市街地住宅建設事業などを計画的に進めるために予算配分しています。